

PLEASE CONTACT

データのバックアップが止まっている施設様への訪問を強化しております。電源を入れた際に不具合などがありましたら、事務局までお知らせ頂けると幸いです。

また、参加を検討している未参加施設からの問い合わせを頂いております。ご希望の日時をお伺いして営業担当がご説明させていただきます。連携施設等、訪問依頼がございましたらご一報ください。

4/19.20 トミザワ薬局様 …… ご加入いただいている各店舗様へ、運用支援のためにツール（患者さん用パンフレット、スタンドPOP、申込書）等を持参し、患者加入受付依頼を行いました。

4/13 村岡外科クリニック様… 運用支援のためにツール（患者さん用パンフレット、スタンドPOP、申込書）等を持参しました。

4/12 JCHO 仙台病院様 特別講演会（MMWIN 共催）

TKP ガーデンシティ仙台勾当台にて、地域連携ネットワークの講演会を開催いたしました。当日は、参加施設や未参加施設も含め100名を超える方に出席して頂きました。

山形県鶴岡市における地域医療体制の構築についての講演（山形県医師会副会長：中目 千之氏）、MMWIN を使った透析情報共有についての講演（JCHO 仙台病院：鈴木 真佐也氏）、MMWIN の紹介は理事の登米祐也先生に講演して頂きました。

講演後、参加を希望する施設様もいらっしゃいました。ご参加くださった皆さま、ありがとうございました。



4/8 みやぎ東部循環器科様… 東北大学での加入患者さんの紐付けで訪問しました。紐付けや端末操作、患者さんのデータ参照など、操作説明を行いました。

3/25 「第15回スマイルネットユーザーズミーティング」兼「第19回宮城県脳卒中地域連携パス研究会」「MMWIN ユーザーズミーティング」

22 施設・42 名の皆様にご参加頂き、スマイルネットや脳卒中地域連携パス、及び MMWIN の現状報告、最近のトピックスを含めた情報交換をさせて頂きました。ご参加くださった皆さま、ありがとうございました。



発行：一般社団法人 みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会

〒980-8633 仙台市青葉区大手町 1-5 宮城県医師会館 6 階 URL : <http://mmwin.or.jp>
サポートセンター TEL : 022-399-6880 サポートセンター E-mail : support@mmwin.or.jp
事務局 TEL : 022-395-6312 FAX : 022-395-6313 E-mail : office@mmwin.or.jp

当協議会からのメールを受信できない場合がございますので、「@mmwin.or.jp」からのメールを受信できるように設定してください。
『MMWIN』、『みんなのみやぎネット』は、一般社団法人みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会の登録商標です。
※本誌の収録内容の無断転載、複写、引用、改変等を禁じます。



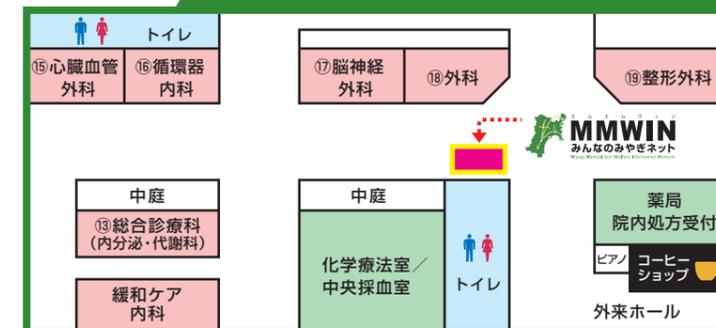
運用サポート強化中! 仙台医療センター・東北大学病院

MMWINブース設置

以前より、東北大学病院にて、運用サポートや患者さんの加入促進のため、MMWINブースを設置していましたが、各施設からのご要望にお応えして、4月6日より仙台医療センターでも、期間限定で新たにMMWINブースを設置しました。患者さんのMMWIN加入支援や、スタッフの方へのレクチャー等、事務局員が常駐し、サポートさせていただきます。

仙台医療センターでは、右記の  にて月-金曜の9:00-16:00の間で、ブースを開設中です。脳神経外科にご支援頂き、外来にて、受付時に全患者へパンフレットを渡して頂き、診察後に先生から一声掛けて頂きます。他院との連携も積極的にご協力頂いております。

仙台医療センターのブース MAP



東北大学病院では、以前よりブースを設置しておりますが、勧誘を行う診療科を当初より拡大し、現在は眼科や神経外科など、続々と加入患者さんを増やしており、東北大学病院での加入患者数は延べ6,000人に迫る勢いです。

今後は、みやぎ県南中核病院、JCHO 仙台病院、東北公済病院、東北労災病院など、様々な施設にて、期間限定でのブース設置を予定しております。ご依頼を頂ければご相談の上、ブース設置が可能ですので、ご希望の施設様は事務局まで、是非ご一報ください。



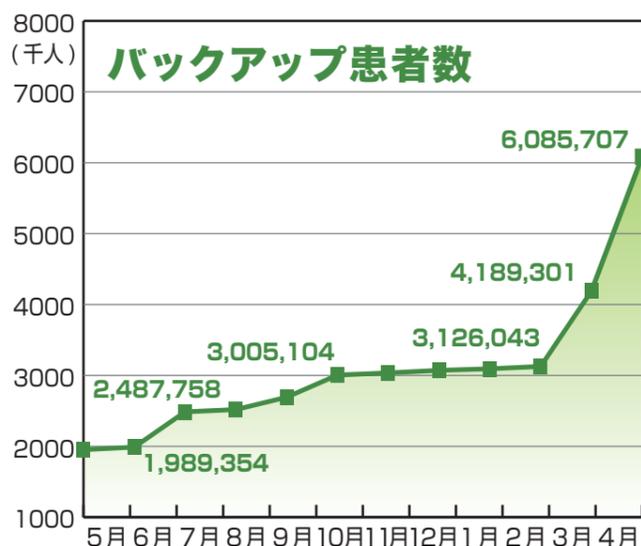
興味のある施設様からのご連絡をお待ちしております!

稼働状況

データで見る MMWIN の稼働状況です。

データ推移

バックアップ患者数が 600 万人を超えました。患者登録数は、東北大学病院で 5,800 人を超え医療センターを含む他施設での患者登録数も、順調に増えています。



よくあるご質問

Q 施設で1枚のICカードを持ちたいのですが可能でしょうか。(職員登録について)

A 情報セキュリティの観点から、ICカードを共有することはできません。利用申込書・誓約書・資格証明書をご提出頂いた、患者情報閲覧の資格を持った職員の方個人に1枚の発行となります。

Q 名前で検索をかけても出てきません。(操作について)

A 苗字は必ず入力してください。氏名の途中、一部からの検索は不可能です。苗字と名前の間のスペースも1文字として認識しますので、スペースの有無を確認する必要があります。

Q 紐付け後、患者情報はすぐに参照できますか？(操作について)

A 参照は可能です。ただ、最新情報はすぐに反映されない場合がありますので、ご了承ください。

トピックス

MMWIN の旬な話題をお届けします。

施設情報変更届についてお知らせです

登録情報変更の際には、同封いたしました『変更届』に必要事項をご記入のうえ、FAXにてMMWIN事務局へお送りください。MMWINのホームページ(TOPページの右下のバナー)からもダウンロードが可能となっております。今一度ご確認くださいませよう、お願い申し上げます。



参加施設一覧の更新について

MMWIN参加施設一覧に、H28年4月以降構築の72施設が新たに追加されました。ホームページの参加施設一覧も随時更新中です。

登米市・2016 生き生き健康フェスティバルに参加します

【日時】5月28日(土曜日) 午前10時00分～午後4時00分

【場所】登米祝祭劇場

会場内にブースを設置し、MMWINの説明や、患者さんの加入案内を行います。入場無料ですので、お近くの方は、お誘い合わせの上、是非ご来場ください。



患者さんの声

実際に寄せられた生の声をお届けします。

参加施設に入っているはずの病院にいくつか通院しているが、MMWINポスターなどを見たことがない。参加施設で本当に使えるのか不安。周知徹底をお願いしたい。

2月頃、参加している病院にカードを提出したが窓口で分からないと言われた。

参加施設には、ポスターやパンフレット、卓上POPなどをMMWINツールとしてお渡ししております。加入患者さんの利用促進や、未加入患者さんへの周知も含めて、掲示して頂ければと思います。

また、お問い合わせ頂いた施設は、昨年度に構築が完了し、アップロードが始まりました。他にも構築が完了した施設も増えましたので、患者さんへの対応が可能になった施設様は、積極的に活用して頂ければ幸いです。

医療センターでは、石巻で被災された方が外科を受診しており、『MMWIN連携システムは良い取り組みですね』と加入していただきました。MMWINの設立のきっかけは、東日本大震災における医療情報の消失、交通網の途絶などの経験です。今後は更にICTを利用した地域医療情報ネットワークが発達し、施設間の迅速で正確な情報連携がより重要となります。利活用推進のため、今後ともご協力の程、よろしくお願い申し上げます。